

3. 調査内容

調査対象病院に対して、施設特性調査および患者特性調査を実施した。
施設特性調査については、病床の種類・数等の施設の基本的項目を調査した。

患者特性調査については、「平成 16 年度 慢性期入院医療の包括評価に関する調査」において実施した「患者特性調査票」の調査内容に基づき、下記に示す調査項目について調査した。調査は平成 17 年 9 月下旬から 10 月にかけて実施し、病棟看護師による自記式アンケート調査とした。

<患者特性調査の調査項目>

調査票項目	内容
FS. 対象入院患者の属性等	性別、生年月、入院日、診療報酬上の規定等
I. 基本情報	入院前の状況、入院した背景、医師や看護師による医療サービス提供の頻度、要介護度、ADL、痴呆度等
II. 記憶	意識障害の有無、認知能力、せん妄・混乱した思考等
III. コミュニケーション 聴覚	対人コミュニケーションの状態や変化等
IV. 気分と行動	うつ状態・不安・悲しみの気分の兆候、問題行動の状態等
V. 身体機能と機能問題	ADL 自立度について過去 3 日以内の状態等
VI. 疾患	患者の現在の ADL 状態に関係する疾患
VII. 症状と状態	身体状態（脱水、妄想、発熱、幻覚など）、痛みの頻度や程度、状態の安定性等
VIII. 栄養状態	体重変化、栄養摂取の方法等
IX. 皮膚の状態	褥瘡・潰瘍の状態や種類等の皮膚の問題とケア
X. 注射・点滴	注射・点滴を受けた日数、種類
XI. リハビリテーション	リハビリテーションの必要性や実施内容等
XII. 治療	治療・処置の状態について過去 7 日間の状況
XIII. 退院の可能性、 全体の状況	今後の退院（転棟）の見通しや患者家族への介護の期待等